

全国的に不登校児童・生徒数は増加傾向にあり、文部科学省は不登校対応の充実を図るため、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』（令和5年3月）」において具体的な支援策を示しました。本市においてはこれまでも、学校・府中市教育委員会・市役所関係各課・その他関係機関等が連携し、様々な取組を進めてきました。今後も不登校児童・生徒等の個々の状況に応じた多様な学びの機会の確保と、重層的な支援の充実に取り組んでまいります。

○ 社会的自立に向け、個々の状況に応じた多様な学びの機会の確保へ



学校	在籍学級等における教職員による指導・支援
	「心の健康観察」による心や体調の変化の早期発見と速やかな支援
	スクールカウンセラーによる相談支援（カウンセリング）
	サポートルーム(校内別室指導)を活用した学習支援や相談、居場所の提供
	タブレット端末によるオンライン授業配信
市教育委員会	家庭と子供の支援員による個別的な支援（登下校の付き添い支援含む）
	「学校と生徒を支援する巡回教員(不登校対応巡回教員)」による組織的な校内支援体制の構築と対応の充実【中学校】
	教育支援センター「けやき教室」への通室
市・民間等	学びの多様化学校「かがやき」への登校
	子ども発達支援センター「はばたき」での教育相談、福祉的な支援
	府中市ヤングケアラプロジェクトによる家庭の相談支援
	フリースクール等民間施設・団体、NPO法人等と連携した支援
市・民間等	青少年・コワーキングスペース、市立図書館、文化センター（『Co-Ko Place(ココプレ)』）等による居場所の提供
	子育て世代包括支援センター「みらい」との連携による家庭支援
市・民間等	子育て世代包括支援センター「みらい」との連携による家庭支援

「心の健康観察」による心や体調の変化の早期発見と速やかな支援

児童・生徒の心や身体のSOSを早期に把握し、問題が表面化する前から積極的かつ適切な支援を実施するために、令和6年度からタブレット端末を活用して心や体調の変化を早期発見する取組（「心の健康観察」）を推進しています。各学校では定期的に「心の健康観察」を実施し、児童・生徒はアンケートフォーム上で「心の状態」を「☉晴れ」「☁曇り」「△雨」「×雷」などから選択するとともに、選んだ選択肢の理由を回答します。アンケートには相談希望の有無や、相談相手の希望を記載することができます。学校は児童・生徒それぞれの回答内容を確認し、学校内で共有して対応を検討して、必要に応じて教員による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリング等を速やかに実施するなどの支援を行っています。

※「心の健康観察」は「心の天気予報」「心の天気図」など、学校によって呼称が異なる場合があります。



サポートルーム(校内別室指導)を活用した学習支援や相談、居場所の提供

不登校児童・生徒への支援の一環として、令和5年度から、各学校において、校内で別室指導を受けることができるように「サポートルーム」を設置し、支援員を配置しています。「サポートルーム」ではさまざまな理由から教室に入りづらさを感じている児童・生徒に対して、学習支援や相談、居場所づくり等を行い、欠席の長期化を防ぐとともに、不登校状態にある児童・生徒の教室復帰に向けて支援をしています。まずは「居場所」として安心して過ごせるように、児童・生徒の抱えている「悩み」や「不安」を理解し、その気持ちに寄り添った対応をすることを大切にして支援をしています。そのため、パーテーション等で空間に仕切りを作り、個別学習スペースを作る・グループで学習したりコミュニケーションがとれたりするスペースを作る・クッション等を配置してリラックスできる環境を整えるなど、児童・生徒のニーズに応じて環境を調整できるように工夫しています。



教育支援センター「けやき教室」への通室による個に応じた学びの提供

「けやき教室」は、市内在住の小・中学生を対象に、「学校に行きたくても行けない」などの心理的理由等により登校できない状態にある児童・生徒に対して「居場所」として提供するとともに、「学習支援」を行う教室です。学校とは異なる雰囲気の中での学習や個別・小集団の活動を通じた、学力補充と集団生活への適応を促し、学校生活への復帰を支援します。各自の学習状況に応じて課題を設定し、より個に応じた自主教科学習を主体としながら、菜園活動やSST（ソーシャルスキルトレーニング）などを行う「けやきタイム」、校外指導（市美術館見学、多摩動物園等）など、集団活動の充実を図り、学校復帰及び社会的な自立をサポートします。「けやき教室」と在籍校の「サポートルーム」を併用することも可能です。



学びの多様化学校「かがやき」への登校による小集団での学びの提供【中学校】

学校以外の場で行う多様で適切な教育機会を確保するために、学びの多様化学校「かがやき」を府中市立教育センター5階に「浅間中学校」の「分教室」として開設しました。学びの多様化学校「かがやき」では、不登校傾向にある生徒の状況に応じた特別の教育課程（カリキュラム）を編成し、学力の基礎・基本の定着や個々の学ぶ意欲を生かした小集団での学び合い、体験的な活動の充実を図るなど、社会的自立に向けた指導・支援を行っています。人と、他者と、社会と、未来と『つながる』をキーワードに、生徒一人一人に応じた学びの充実を図り、生徒一人一人の「かがやき」を醸成しています。

※「かがやき」は「府中市立浅間中学校」の分教室であるため、入室決定後は浅間中学校の在籍となります。浅間中学校以外から入室する場合は「転校」扱いとなります。



※欠席状況とそれぞれの支援施策の関連はあくまでも目安です。
※それぞれの支援施策の詳細や利用の希望にあたっては、在籍している学校にご相談ください。